

東北地方の魅力が飛躍的に高まりつつある。

東北地方の持つ開発可能性は、今後の日本全体の活力の源であり、同時に豊かな自然は心のやすらぎを提供する。わが国にとって、今や東北は、貴重な財産となってきたともいえよう。

* * *

東北の良さ、可能性が見直しされ、今後まさに東北は輝やかな時期を迎えるであろう。この地域のエネルギー供給の主要部分を受け持っている当社としては、その責任の重大さを認識し、安定供給と新エネルギーへの対応、送電、変電、配電、通信などあらゆる部門での技術革新に先見性的かつ果敢に挑戦していく考えである。

エネルギー問題の行く末

日本原子力産業会議専務理事

森 一久



世界で原子力発電所を運転している国の数は26となり、その合計は336基、2億3660万kWとなった。これは6億トンの石炭に相当する量だが、このところ毎年20基以上が運転に入っているので、確実なところで1990年に4億kW弱、2000年には5億kWになるものと見込まれる。原子力もいまや石炭、石油、ガスと並んで主要なエネルギー源として定着してきた。

米国では1978年の2基を除き、ここ12年間にわたって発注は皆無、この間111基に及ぶキャンセルという状況が続く、原子力産業は金利高、長いリードタイム、規制の混乱という三重苦からまだ脱却できないで

いる。しかし、よくよく運転許可手続きが軌道に乗り、このところ毎年5基程度が加わって、発電規模では依然首位にある。各国別の運転中の原子力発電所を示すと、次頁の表のようになる。

* * *

石油危機以来の石油・石炭の急激な価格上昇の歯止めとなったのは、需要の低迷に加え、コストの安い原子力発電の大幅な導入であった。しかし、石炭・石油の価格低迷がここまで続くと、今度は逆に原子力のコスト上昇に対して石炭などが歯止めとなってきた。通年コストでの原子力の優位は揺るがないとしても、初年度コストでは、原子力発電と石炭発電とのコスト差はだんだんと狭められてきた。

日本のようにエネルギー資源の大部分を輸入に頼っている国にとっては、石炭、石油、ガスそれに原子力などの各種エネルギーが、このような競争関係を通じて適正な価格に落ち着いていくことは、極めて好ましい状況といえよう。したがって、ここ当分の間はこれらのエネルギー源を、セキュリティとコストのバランスに配慮しつつ利用していくことが、適切なエネルギー政策であるといえることができる。

* * *

しかしこのような、いわば快適な状況が長続きするには限度がある。石油の国際需給をみると、今後先進国の石油消費が横ばいでも、開発途上国の緩慢な増加だけで2000年には石油需給の本格的な逼迫は不可避とされている。2000年には、NO_x、SO_x、さらにCO₂問題から、化石燃料の大量消費について、何らかの国際合意を必要とする事態になっているであろうといわれる。

また原子力の方では、ここ10年値下がり一方のウラン鉱石事情も、2000年を過ぎれば売り手市場に転じるとされている。つまり2000年を契機として、エネルギーの世界情勢は大きな変曲点にさしかかるのは間違いないようである。

私は単に、2000年ころには前2回と同じような石油危機が起きそうだから、それに備えなければならないといっているわけではない。否、むしろ日本は前2回のときと同様に、結果的にはその危機を利用して、そ

の経済力をまた一段と伸長してしまう可能性が大きい。問題は、もしそうなったとき、日本は世界においていかなる存在となっているかということではなからうか。

防衛での日本の役割に対しては、日本としても平和国家としてどうしても譲れない一線があるし、また何

らかの後払いの形で何かと国際社会の中で孤立を避けることもできよう。

2000年まであと15年。日本がこの間エネルギーの分野で何をなすべきか、戦争前夜の様相を呈する現下の貿易摩擦の中に、そのヒントは十分に含まれているように思われる。

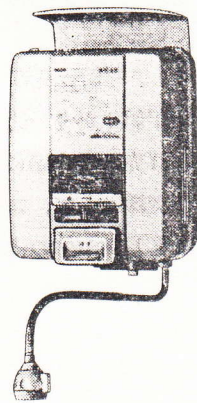
運転中の原子力発電所 (1985年6月30日現在)

(1) アメリカ	7,461万kW	(14) 韓国	191万kW
(2) フランス	3,454	(15) 東ドイツ	184
(3) ソ連	2,619	(16) ブルガリア	176
(4) 日本	2,269	(17) イタリア	132
(5) 西ドイツ	1,693	(18) チェコ	129
(6) イギリス	1,078	(19) インド	109
(7) カナダ	1,006	以下100万kW未満	
(8) スウェーデン	766	(20) アルゼンチン,	
(9) 台湾	514	(21) 南ア, (22) ハンガリー,	
(10) スペイン	488	(23) ユーゴ,	
(11) ベルギー	358	(24) ブラジル, (25) オランダ,	
(12) スイス	303	(26) パキスタン	
(13) フィンランド	240		

Rinnai

快適な生活を演出します。
リンナイの先進技術。

点火・出湯もワンタッチ。湯温、湯量調節が
簡単なスライドマチックつき。



●不完全燃焼になる前にガスをカット/不完全燃焼防止装置つき ●5号～25号まで能力無段階調節 ●コンバ外で切り替え式のキッチンシャワーつき ●点火装置を2個装備のダブルスパークで確実着火。

ガス瞬間湯沸器

ニューユーティ

不完全燃焼防止装置付

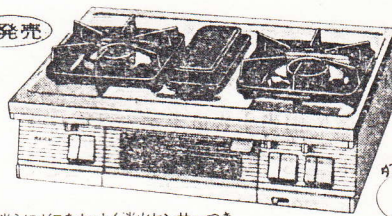
RUS-5G.....¥26,600

RUS-5GX 熱湯型 ¥27,600

(本体寸法: 高さ33.3×幅28.2×奥行16.0cm)

ワンタッチ点火のダブルセーフティ機能つき、
しかもハイグレードなホワイトデザイン。

新発売



●立消えにガスをカット/消火センサーつき。

●いたずら点火を防止する点火ロックつき。●着火が確実な連続放電点火方式採用 ●7段階ノックつきのスライド式火力調節レバー。

グリル付ガステーブル

タッチエース

RTS-3G ¥23,800

(高さ(トッププレート)18.0×幅59.5×奥行45.5cm
ホースエンド含む)

総合ガス器具

リンナイ

リンナイ株式会社 本社 〒454 名古屋市千川区瑞穂2番26号 ☎052(361)8211(代) 札幌 ☎011(261)2506 仙台 ☎0222(93)1121 東京 ☎03(434)4571
新潟 ☎0252(86)6711 名古屋 ☎052(361)8211 大阪 ☎06(532)3001 福岡 ☎092(281)3234 広島 ☎082(277)5131 高松 ☎0878(21)8000